

令和4年度 7月の園だより

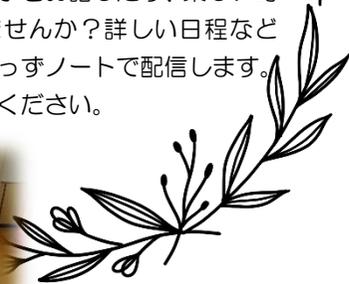


水あそびが始まります!

今月より、水あそびが始まります。屋上やテラス、園庭など、安全、衛生面に気をつけながら、それぞれの場所で体調や気温に合わせておこなっていきます。体調など気がかりなことがありましたら、担任までお知らせください。

“ふれあいの部屋”へようこそ!!

7月初旬に“ふれあいの部屋”を開催します。保護者の方向士の親睦やお子さんの園での様子をお話したり、楽しい時間を過ごしませんか? 詳しい日程など行事予定やきっぷノートで配信します。ぜひ、ご参加ください。



大自然に囲まれて楽しいお泊り保育

(第二みみょうこども園 年長児)

日にち: 7月29日(金)~30日(土)



今年度も北広島町の順源会「山の家」で、年長組さんがお泊り保育に行きます。

保護者から離れ、大自然の中で仲間と一緒に過ごすことで、協力することの大切さや、自立心を養うことをねらっています。みみょう保育園の子どもたちも、数年後には楽しいお泊り保育へ参加します! お泊り保育で頑張れるように、ご家庭でも規則正しい生活習慣を身につけたり、少しでも自分でできることは自分ですることなど、今から準備をしておきましょう。



地震・水害に備えよう



広島市南消防署 警防課 救助係

「身近な体験の中で育つ子どものころ」

2歳児きりん組の子どもたちが保育者と一緒に大切に育てている園庭の朝顔も、日に日に大きく育ち、きれいな色をした花が少しずつ咲き始めています。子どもたちは、濃い紫や薄ピンクなど色の濃淡にも気が付き、植物の不思議さを身近に感じているのか、「お花の色がちがうね」、「もっと、おおきくなーれ」など、保育者とやりとりをしながら、花が咲く様子を毎日心待ちにしています。

広島市の新型コロナウイルス感染者数は減少傾向ではありますが、まだまだ油断はできない状況です。また、気温が上がるにつれ熱中症も心配されます。あそびの合間にこまめな水分補給や休息も十分にとりながら、子どもたちにとって今しかできないあそびができるように、“楽しい保育”を展開してまいります。保護者のみなさまには、これまで日々の感染症対策にはいろいろご配慮いただいておりますが、これからも引き続き、感染防止に注意を払ってくださいますようお願いいたします。

さて、6月6日にみみょう保育園の10年来の仲間“うさぎのむくちゃん”が永眠しました。子どもたちや保護者のみなさんが送迎時に「むくちゃん、おはよう」、「ごはん、たべれているかな?」など毎日毎日、声をかけてくださる姿や、むくちゃんが亡くなってからもいなくなった小屋に親子で手を合わせてくださる姿を見たり、「むくちゃんはお空へいったんだよ」とお子さんにわかりやすくお話しされる様子を見ていると、胸が熱くなる思いをしております。

子どもたちは、身近な体験を通していろいろなことを感じたり考えたりしています。今回もむくちゃんの死を通して、生命の不思議さや尊さを、子どもなりに感じてくれたことと思います。子どもたちだけではなく私たち大人も、むくちゃんから教えてもらったことはたくさんありました。むくちゃんは大切な仲間でした。

みみょう保育園では、あかちゃんの頃から季節の変化に気が付いたり、動植物に関心を持ち、身近に何か興味を引くことがあれば、すぐに触れてみようとするような子に育ててほしいと思っています。

これには、側にいる大人が子どもの気持ちを察し、何かに関心を持ったらすぐにその場で受けごたえすることが、子どもたちの育ちにとって大切なことだと考えています。しかし、大人の行動や言葉が早すぎると子ども自身が自分の気持ちや考えをまとめることができません。変化に触れる機会を大切にし、一緒に見たもの、感じたことなど言葉で伝えてあげたり、感じられるように関わってみてください。子どもの思いをくみ取り、感情や思い共感するだけではなく、丁寧なやりとりを繰り返し、大人自身も感じたことを、思ったことをじっくり伝えてあげるで、言葉の数が豊かになったり、感性も育まれていきます。

そして、心豊かな大切な乳児期の育ちを経て、子どもたち自身が様々な人や事柄に感謝でき、自分や他者を大切にできる人へと育てて欲しいと願っています。

梅雨も明け夏がいよいよやってきます。夏のあそびは子どもたちにとって試したり、発見したり…とどんどん「やってみたい!」と探求心が高まる季節です。水や泥に触れて、思いきり夏のあそびを楽しみたいと思います。体調管理を引き続きよろしくお願いします。

みみょう保育園 主任



青虫さんが孵化したよ。ちょうちょになりました!

子育て応援メッセージ

他人と比較してはいけない
ほんのわずかでも、できている部分を
見つけ、
それに気づかせることが重要だ



親は子どもに何か教える際に、周囲の子どもやきょうだいを例にとり、比較しがちです。それにより、見本を示すとともに間違いに気づかせ、懲らしめる効果を狙うのです。しかし、子どもは比較されることにより、自信を失い傷つきます。そして問題行動を増やす結果になるのです。もし正しい例を示したいのであれば、本人の中にある、ほんのわずかでもできている部分を見つけそれに気づかせることが大切です。いいところみつね・・してみましよう。

ダイヤモンド社

「アルフレッド・アドラー

人生に革命が起きる 100 の言葉」



7月7日は七夕です。人日(正月)、上巳(桃の節句)、端午(たんご)、七夕、重陽(菊の節句)は、昔から五節句といわれ、それぞれにちなんだ伝説や行事があります。

七夕は星まつりで、天の川をはさんで東西に位置するアルタイ星とベガ星をけん牛(ひこ星)、織姫(織姫星)と呼んでいます。この二人は仲が良すぎて仕事をしなくなったため、天の神の怒りに触れ、別れ別れになってしまったのです。しかし、それから二人は懸命に働き、一年に一度7月7日カササギの橋の上で会うことが許されたと伝えられています。